

I . 学 芸 活 動

1 展 示

(1) 企画展示会

ア 西南戦争古写真展

期 間 4月14日(火)～5月24日(日)

イ くまもと自然探検

期 間 5月30日(土)～6月30日(火)



チラシ表



チラシ裏

(2) 定例展示会

第49回 肥後しゃくやく展

日 時 5月5日(火・祝)、6日(水・振休)

会 場 塚原歴史民俗資料館 研修室

入場者 99名



(3) 共催展

ア 第7回「地質の日」企画

「身近に知る『くまもとの大地』」

主 催 「地質の日」くまもと実行委員会

期 間 5月10日(日)～5月24日(日)

会 場 御船町恐竜博物館1階交流ギャラリー

入場者 2700名



イ 第55回 肥後朝顔秋の展示会

日 時 9月4日(金)～9月6日(日)

会 場 熊本市動植物園

入場者 232名



2 企画展示会報告

(1) 企画展示会

企画展「西南戦争古写真展」

ア 期間 4月14日(火)～5月24日(日)

イ 会場 特別展示室

ウ 主催 熊本博物館

エ 趣旨

西南戦争直後に撮影された貴重な写真をパネルで紹介する（写真アルバムは熊本城顕彰会寄託）。

オ 展示構成

- 1 熊本城下の戦い（1）
- 2 熊本城下の戦い（2）
- 3 広がる戦場
- 4 西南戦争の終結



企画展「くまもと自然探検」

ア 期間 5月30日（土）～6月30日（火）

イ 会場 特別展示室

ウ 主催 熊本博物館

エ 趣旨

熊本の山、海、都市など、さまざまな環境ごとにある多様な自然の成り立ちや身近な自然の楽しみ方について紹介する。

オ 展示構成

- 1 山の自然
- 2 川の自然
- 3 湖沼の自然
- 4 海の自然
- 5 里山の自然
- 6 都市の自然
- 7 観察コーナーほか





3 教育・普及

(1) 観察会・見学会

- 6.6 肥後朝顔栽培研修会（熊本城竹之丸）
- 7.5 肥後朝顔持寄会（水前寺公園）
- 7.12 肥後朝顔栽培管理教室（熊本市動植物園）
- 7.20 肥後朝顔阿蘇展示会（南阿蘇村）

(2) 教室・講座

休館に伴い実施しなかった。

(3) プラネタリウム

ア プラネタリウムの構成

- プラネタリウムドーム 直径16m
- 座席数 180席
- プラネタリウム機器
 - 光学式投映機 五藤光学 CHRONOS II
 - デジタル式投映機 五藤光学 VIRTUARIUM II
- 音響装置
- コントロールコンソール
- 補聴装置（磁気誘導ループ方式）



プラネタリウム室

イ 投映プログラム

プラネタリウムでは4月から6月の間、天文に関するさまざまな話題を紹介する一般投映番組のほか、幼児・家族向けの投映（ファミリーアワー）や、字幕付きプラネタリウムなどを実施した。また、小・中学校の学習内容に対応した投映を行った。

投映の時間割

曜日・時間	① 9:45~	② 11:00~	③ 12:15~	④ 13:30~	⑤ 14:45~	⑥ 16:00~
火	団体★	団体★	—	一般◆	一般	—
水	団体★	団体★	—	一般	一般◆	—
木	団体★	団体★	—	一般◆	一般	—
金	団体★ (幼児)	団体★ (幼児)	—	一般	一般◆	—
土	一般	ファミリー アワー	一般	一般	一般	一般 /特別
日・祝	一般◆	ファミリー アワー	一般	一般	一般	—

★は、春休み・夏休み・冬休み期間中は、一般投映となります。
◆は、学校団体向けの投映番組になることがあります。
●投映時間は約50分（幼児番組は約40分）です。
●「団体」は予約がある場合の投映です。空席があるときは一般の方もご覧いただけます。
●投映途中の入退場はできません。

投映時間割

(ア) 一般投映番組

前半に星空解説、後半にオート番組の2部制で投映を行った。星空解説部分については、職員による生解説で投映当夜の星空を紹介した。

a 「ユニバース ～神秘と驚異の宇宙～」

投映期間 平成27年3月7日（土）
～4月12日（日）

長年の研究により明らかとなってきた宇宙の姿を、迫力あるCGで紹介した。

b 「戦場に輝くベガ～約束の星を見上げて～」

投映期間 4月16日（木）～6月30日（火）

天文航法で陸上爆撃機「銀河」を導く偵察員と航法に必要な高度方位暦をつくる女学生の物語を通して、星が戦争に利用されていた歴史を紹介した。



番組ポスター

(イ) ファミリーアワー

幼児から小学校低学年の子どもたちやその家族を対象に、プラネタリウムに親しんでもらう最初の機会として、毎週土曜・日曜、祝日の11時から実施した。全体の投映時間は40分で、歌や掛け声を交えて、わくわく感の増す内容とした。星空解説部分については、職員による生解説で投映当夜の星空を紹介した。

「テンテンのさがしもの

～はじめてのありがとう～」

投映期間 4月16日(木)～6月30日(火)

パンダのテンテンたちが、友人のために光る赤いものを探して宇宙に飛び立つ話を通して、惑星や月、十二星座など、身近な天体について紹介した。

(ウ) 字幕付きプラネタリウム

プラネタリウムの投映は映像と音声で構成されており、聴覚に障がいのある人にとっては、通常の投映は十分なものではない。そこで、聴覚に障がいのある人も、そうでない人も一緒にプラネタリウムを楽しめるよう、字幕付きプラネタリウムを実施した。実施にあたっては、熊本県聴覚障害者情報提供センターに協力いただいた。

第34回字幕付きプラネタリウム

日時 5月16日(土)

9時45分～10時35分

12時15分～13時5分

投映番組

「戦場に輝くベガ～約束の星を見上げて～」

参加者 76名

(エ) 学校団体向け投映

小・中学校の理科・天体学習の理解を深めるため、学校団体向けの投映を行った。当日夜の星空を中心に、星座、惑星、太陽・月・星の動きなどを生解説し、以下の学年に合わせたテーマ番組の投映を行った。

a 小学校4年生向け

タイトル「スタジオ444

～空のフシギをさぐれ!～」

教科書での学習内容に合わせ、月の見え方や星の明るさ、色の違い、時刻による見え方の違いなどを説明した。

投映回数 1回

b 小学校6年生向け

タイトル「宇宙調査隊～月と太陽のひみつ～」

教科書での学習内容に合わせ、月の見え方と、太陽・月の位置関係、月と太陽の表面の様子の違いなどを説明した。

投映回数 1回

c 中学生向け

タイトル「この空に願いをこめて・・・」

教科書での学習内容に合わせ、日周運動、年周運動、月の公転と満ち欠け、太陽系の天体、銀河系、宇宙の構造などについて説明した。

投映回数 1回

(オ) 熊本市立小学校の宿泊教室に合わせた団体投映

熊本市立小学校は、5年生時に金峰山少年自然の家にて宿泊教室を行うことから、これに合わせてプラネタリウム投映を行った。

時間 少年自然の家入所日の9時45分～

10時35分

内容 「星が見てきた KUMAMOTO」

参加校数 16校

(カ) 幼児団体向け投映

学校長期休業中を除く金曜日の午前(9時45分～、11時～)、幼稚園や保育園などの幼児団体向けに投映を行った。投映時間は40分で、星空の紹介(生解説)と幼児向け番組を投映した。投映期間と内容は、上記(イ)ファミリーアワーと同様である。

(キ) 特別投映

プラネタリウムの星空と共に、音楽の演奏など特別投映ならではのライブ演出を交えて実施した。

特別投映「星空解説とフルートの調べ」

日時 6月13日(土)16時～16時50分

内容 当夜の星空と音楽に関する星座や神

話について解説した。合わせて、フルートの演奏を行った。

フルート 山口邦子氏（平成音楽大学講師）
岡本まどか氏（フルート奏者）
西島ちえみ氏（フルート奏者）

参加者 59名

ウ その他

(ア) 熊本大学教育学部理科教育での活用
講義の一環として、プラネタリウムを活用した解説を行った。

日時 10月9日（金）
14時30分～17時40分

内容 北半球・南半球・赤道上で
の星空
四季の星座
プラネタリウムの多様性について

参加者 23名

(イ) 天文講演会

特別展示室を会場に、天文教育に携わっておられる先生をお招きし、天文教育の立場から「天文学といのち」について講演いただいた。

演題 星といのち
～天文の基礎、天文教育の立場から～

講師 熊本市立北部東小学校講師
中山健二氏

日時 平成27年6月20日（土）
13時30分～15時

参加者 40名



天文講演会

(ウ) 部分日食観測会

熊本市では4年ぶりとなる部分日食の観測会を行った。当日は悪天候だったため、日食・月食に関する勉強会を実施した。

日時 3月9日（水）
9時45分～10時30分

内容 日食・月食について

参加者 6名



部分日食観測会

(4) 同好会

考古学同好会

考古学同好会は、昭和60年（1985）3月に発足した。考古学講座（初級）を修了した方に、同好会（中・上級）への入会資格が与えられる。これまでに第29期生まで入会しており、平成28年3月31日現在の会員数は55名。原則として、毎月第3金曜日にバス見学会や室内学習会を実施している。年間計画の立案、バスの手配や保険の手続きなど運営は全て会員によって行われている。博物館が休館中のため、今年度は室内学習も館外の施設で実施。

- 4.17 バス見学「福岡の弥生遺跡を訪ねる」 27名
- 5.15 バス見学「宇賀岳古墳・浄水寺跡等」 26名
- 6.19 室内学習「藤崎台野球場とその周辺の遺構の変遷」美濃口紀子（考古） 28名
- 7.17 会員発表「ガイドが見る熊本城」 26名
- 8.21 室内学習「九州における近世大名墓の成立」美濃口雅朗氏（熊本城調査研究センター） 28名
- 9.18 バス見学「江藤家住宅・国造神社等」 24名
- 10.16 バス見学「宗像大社・宮地嶽神社」 18名

- 11.20 「熊本城探訪」 富田紘一文化財専門相談員 26名
- 12.18 会員発表「宗像の古墳群等」 20名
- 1.15 新年会 18名
- 2.26 室内学習「熊本城の歴史—二ノ丸の縄張り—」
富田紘一文化財専門相談員 29名
- 3.18 総会 23名

(5) ミニ・シンポジウム

「熊本の民俗文化財とその魅力

—民俗文化財の記録と保護に関する

ミニ・シンポジウム—

日時 6月21日(日) 13時～17時

会場 特別展示室

参加者 48名

【基調講演1】

「御田祭の記録資料をめぐって

—作者の立場と意図—

熊本県文化財保護審議会委員

元熊本博物館協議会委員 佐藤 征子氏

【基調講演2】

「無形の民俗文化財を記録すること

—国選択制度と記録保存の意義—

文化庁伝統文化課 民俗文化財部門

文化財調査官 前田 俊一郎氏

【報告1】

「渋江家文書について

—儒学者・渋江公正の配札記録を中心に—

リデル、ライト記念館 館長 緒方 晶子氏

【報告2】

「祭礼を記録すること

—八代妙見祭の場合—

八代市立博物館未来の森ミュージアム

学芸員 早瀬 輝美氏

【報告3】

「藤崎八幡宮御神宝の公開について

—文化財公開の意義と保護—

藤崎八幡宮 権宮司 岩下 通弘氏

【パネルディスカッション】

「民俗文化財の記録保存を進めるには」

コーディネーター 熊本大学文学部 准教授

鈴木 寛之氏

【総括】

熊本県企画振興部

熊本県博物館ネットワークセンター

國本 信夫氏

※シンポジウム企画立案及び司会

熊本博物館 学芸員 福西大輔



(6) 博物館実習生の受け入れ

本年度はリニューアル準備に伴い、博物館実習生の受け入れを行わなかった。

4

収集保存

(1) 資料のデータベース化

資料のデータベース化は、収蔵庫の整理作業と並行して行っている。データベース化には、1) 資料管理の効率化 2) 特別展や企画展・移動博物館などでの資料活用の効率化 3) 貸借の履歴管理の簡便化 4) 各種問合せへの迅速な対応 5) 研究での利用促進 等の効用が考えられる。

分野別資料点数 (H28.3.31現在)

地質	動物	植物	理工	考古	歴史	民俗	総計
20097	58161	16721	137	10217	15049	13135	133517

(2) 寄贈資料

人文分野

5.31 甲斐家資料 (江戸・明治・大正時代の文書・生活道具) 一式

6.2 千葉城横穴群出土

須恵器台付壺 1点・土師器坏 1点

日本放送協会 熊本放送局

2.1 仕出弁当箱

3.22 古閑家資料

3.23 三城家資料

(3) 資料の利用

ア 資料の貸出

(ア) 自然分野

4.1 ~ 3.31 通潤橋木管 山都町役場

10.3 ~ 11.5 ニホンオオカミ骨格レプリカ標本
熊本県博物館ネットワークセンター

(イ) 人文分野

4.1 ~ 3.31 上南部遺跡出土土偶 (第158図-1) のうち頭部以外 1点

九州国立博物館

イ 資料の特別利用

(ア) 自然分野

10.3 ~ 11.5 ニホンオオカミ骨格レプリカ標本
熊本県博物館ネットワークセンター

(イ) 人文分野

4.1 熊本城北面大観図ほか21点

歴史文化体験施設 湧々座

6.27 囲炉裏の風景 (民俗常設展示)

株式会社 日本標準

4.23 肥後藩軍艦 龍驤 画像

東京海洋大学

5.19 西南戦争アルバム (熊本城顕彰会寄託)

熊本城調査研究センター

6.23 西南戦図 (2巻) 熊本市文化振興課

7.16 三宅家文書9点 個人利用

8.25 考古キャラクター「貝面くん」画像

土偶の日運営委員会

9.30 錦絵 田原坂激戦之図

株式会社 NHK エデュケーショナル

10.13 熊本字地図 全 大正7年

中央区役所まちづくり推進課

12.3 近藤樵仙筆 加藤清正肖像画

株式会社NHKエンタープライズ

1.8 近藤樵仙筆 加藤清正肖像画

下村勝介宛て加藤清正知行宛行状

(天正17年)

井村彦右衛門宛て加藤清正知行宛行状

(慶長5年)

宇土市教育委員会

1.8 茶白山ト隈本之絵図

熊本城調査研究センター

1.14 熊本字地図 全 大正7年

NHK (日本放送協会)

1.28 錦絵 田原坂激戦之図

株式会社 秀学社

1.28 視実等象儀

株式会社NHKエンタープライズ

2.4 甲斐青萍筆 詫麻原合戦図

株式会社 G.B

2.10 加藤清正像 (市指定)

中央区役所総務企画課

3.9 西南役両軍配備図

西南戦争アルバム (熊本城顕彰会寄託)

御城内御絵図 (昭和9年写)

熊本城調査研究センター

3.15 熊本城南面大観図

熊本国際観光コンベンション協会

- 3.15 古写真4点(山崎アルバム)
山都町教育委員会生涯学習課
- 3.15 錦絵 田原坂激戦之図
教育出版株式会社
- 3.24 近藤樵仙筆 加藤清正肖像画
有限会社オフィステイク2
- 3.29 熊本城下町絵図
株式会社ランズ
- 3.31 西南戦争関係資料(目録番号1~72)・
宝成就寺文書(全)・寿福寺文書(全)
玉名市立歴史博物館ころろピア
- 3.31 熊本城南面大観図
熊本城下絵図(熊本城顕彰会寄託)
株式会社創朋

(4) 資料の保存

ア 刀剣手入れ

収蔵刀剣保存管理を4回実施した(正海刀剣研磨処)。

イ 博物館資料のくん蒸

6月9日(火)から12日(金)の4日間、当館所蔵の歴史・美術工芸資料、民俗資料に対してエキヒュームSによるくん蒸を行った。

ウ 美術工芸資料の修復

杉村家に伝わった大身槍(館蔵品)の錆取りを実施した(正海刀剣研磨処)。

薙刀(館蔵品)の研磨を実施した(正海刀剣研磨処)。

秋山平十郎作《加藤清正神像》の修復を実施した(浦仏刻所)。

エ 歴史資料修復

細川忠興所用具足(公益財団法人 永青文庫所蔵)のレプリカ製作を行った(西岡甲房)。

歴史資料5点(「杉谷雪樵筆 虎之図」、「詫摩原合戦図」、「妙解院殿御墓所図」、「熊本字地図」、「横井小楠書状」、「錦絵帖」)を修復した(株式会社

大入)。

歴史資料4件5点(「熊本城南面大観図」、「伝杉谷雪樵筆 加藤清正公像」、「(下村家文書)加藤清正判物」、「西南戦図(2巻)」)のレプリカ製作を行った(株式会社 インタージャム)

(5) 資料整理作業

ア 考古分野

リニューアル工事に伴う引越作業に先立ち、収納箱単位にラベルを貼付け、その管理リストとして資料一覧表を作成した(4月~7月)。また実際の引越しに際しては、常温倉庫・定温倉庫に分けて通し番号を付与し、保管している(8月~3月)。また倉庫内では定点観測する資料をあらかじめ決めておき(古墳時代金属製馬具)、サビの進行や劣化が見られないか、毎月確認を実施している。

イ 歴史・美術工芸分野

熊本城顕彰会資料について、リストと資料とを突き合わせ、確認作業を行った。

歴史分野では新規受け入れ資料の整理・データベース登録を行った。また、三宅家資料未整理分の整理・データベース登録を行った。その他前年度に引き続き、収蔵庫内の仮整理資料の登録~中性紙箱への移し替えを順次行った。

美術工芸分野では刀剣に関するデータの整理を行った。また、刀剣研究の専門家6名による館蔵刀剣調査を行った。

ウ 民俗分野

糸車に生えたカビや埃を除去し、引越しに向けて梱包準備を行った。

5 報 告

(1) 学校教育支援事業

「ゲストティーチャー派遣授業」

ア 実施の経緯

社会教育・生涯学習施設である博物館と学校の連